

笠間市に 86 名の 認知症サポーター誕生!

笠間市地域包括支援センター主催による「認知症サポーター養成講座」が、「認知症サポーター100万人キャラバン事業」の一環として、6月16日に開催されました。当日は、茨城県認知症介護アドバイザーの磯初枝さん、鈴木規子さんが講師となり、民生委員等の受講生に介護現場の体験を交えた講話や、認知症の対応例を寸劇で見せるなどしていました。

何かを特別にするのではなく、認知症を正しく理解し、温かく見守るのが認知症サポーターの役割です。認知症は年々増加しており、85歳以上では4人に1人が認知症の症状を持つとされている今般、認知症サポーターの誕生に期待が寄せられます。



わかりやすく認知症の対応例を学ぶ講座の様子

くらしのガイドブックを 官民協働で発行します

市では、市民生活に必要な情報をまとめた「笠間市くらしのガイドブック」を民間との協働事業により発行するため、7月8日、株式会社ゼンリン首都圏支社と協働発行に関する協定を締結しました。

この事業は、民間の持つノウハウを最大限に生かし、便利で使いやすいガイドブックを発行するもので、市民サービスの向上と地域経済の活性化を図ることを目的としています。



協定書を交わす、ゼンリン首都圏支社の吉川支社長（左）と山口市長

沿道に花々を～環境美化・不法投棄防止へ～

春、黄色い花をつけるヤマブキ。このほど、ヤマブキを育てる会（堤徳郎代表）とまちづくり戸塾（桑野正巳代表）の皆さんが、それぞれにヤマブキの苗を育てるためヤマブキの挿し芽を行ないました。苗は、一年後には、人の膝丈ほどに成長し、申し出があった小学校や団体等に無償で配られ、市内の公共施設や沿道に植えられていきます。

また、城里町へ続く県道笠間日立線中山峠の沿道には、第31区（大橋地区）の皆さんが、苗を植え、管理を続けているアジサイが、今年の梅雨時期に美しい青い花を咲かせていました。

市の環境美化や不法投棄の防止につながる活動として、市民の皆さんによる花の輪の広がりに期待が寄せられます。



ヤマブキの挿し芽を行なうヤマブキを育てる会の皆さん



第31区（大橋地区）の皆さんが植えたアジサイ

小学生がエコクッキングに挑戦

友部ごみを考える会主催のエコクッキングが7月12日、友部社会福祉会館で行われました。当日集まったのは市内の小学生24人。材料を買うときからごみの少ないものを選び、フライドポテトはじゃがいもの皮をおかずに作りました。料理と環境について楽しく学ぶことができました。



おいしく出来ました！

親子のきずなを深める 手びねり体験

「第59回社会を明るくする運動」の一つとして、水戸保護観察所と笠間市の運動推進委員会により親子手びねり体験教室が工芸の丘で開かれました。笠間地区保護司会（榎並和子会長）と笠間市更生保護女性会（深沢恭子会長）が中心となり、今回初めて、笠間らしさを取り入れた行事として企画され、市内の小中学校から42組の親子が参加し、手びねり体験を楽しみました。



手びねり体験を楽しむ参加者

まちの 話題

クラインガルテン七夕感謝祭

7月4日と5日の2日間、笠間クラインガルテンで「七夕感謝祭」が開催されました。会場では、地元産の新鮮野菜や果物、ジャムなどが通常よりも安く販売されたほか、餅つきや流しそうめんなどのイベントも行われ、初夏の休日を盛り上げました。



20mの巨大流しそうめん

全日本ドッジボール選手権県大会で 笠間ピュアスターズが優勝

第19回全日本ドッジボール選手権県大会が7月5日、ひたちなか市総合運動公園体育館で行われ、笠間ピュアスターズ（笠間市ドッジボールスポーツ少年団）が優勝し、8月16日に東京体育館で開催される全国大会に出場します。

笠間ピュアスターズの現在のチームは、3年前から全国大会出場を目指し、平日2回、日曜日1回の週3回の練習に励み、今年になってからは栃木、福島などの近県で開催する大会に参加し、強化を図ってきました。県大会では常に冷静な試合運びで優勝を果たしました。全国大会でも上位を狙います。



43チームの頂点に輝いた「笠間ピュアスターズ」